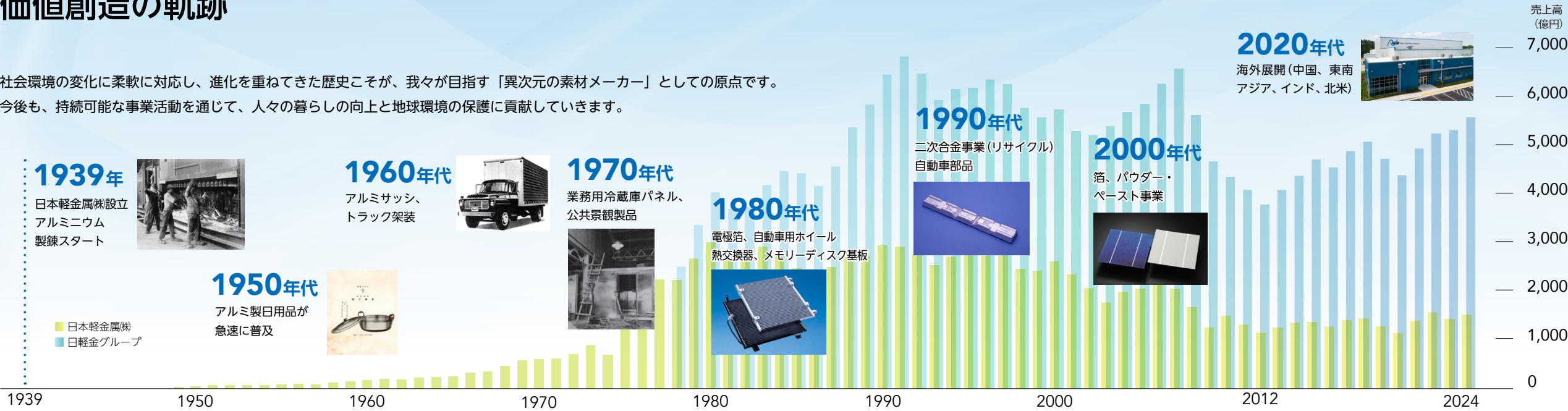


# 価値創造の軌跡

社会環境の変化に柔軟に対応し、進化を重ねてきた歴史こそが、我々が目指す「異次元の素材メーカー」としての原点です。  
今後も、持続可能な事業活動を通じて、人々の暮らしの向上と地球環境の保護に貢献していきます。



創業・拡大期 (1939年～1970年代)		多角化・構造転換期 (1980年～2000年代前半)		持株会社体制 (2012年～現在)	
主力事業	国内インフラ需要に支えられて、アルミニウム製錬を基軸に事業を展開。 <ul style="list-style-type: none"><li>●アルミニウム電解</li><li>●圧延・押出</li><li>●鋳造</li><li>●二次加工までの一貫体制を確立</li></ul>	化学品や飲料容器用製品、機能材 (電子材料、自動車部品) といった加工製品が拡大。リサイクルによる2次合金事業の展開。 <ul style="list-style-type: none"><li>●化学品 (水処理剤、有機合成製品) の多角化</li><li>●電子材料 (高純度アルミ、電極箔、メモリーディスク) の拡大</li><li>●自動車向け商品 (ホイール、鍛造製品、熱交換器)</li></ul>		事業ポートフォリオがアルミナ・化成品、地金、板、押出製品、加工製品、箔・粉末製品、エンジニアリング、技術サービス、物流、関連事業に分化。 <ul style="list-style-type: none"><li>●高付加価値加工製品</li><li>●リサイクルアルミ製品</li><li>●高機能化学品</li><li>●CO<sub>2</sub>削減対応の技術開発 (再エネ、省エネ)</li></ul>	
組織体制	垂直統合型の組織運営 (蒲原製造所に製錬から加工までを集約)。	各事業分野に専門会社を設立。グループ経営体制を強化。		2012年に日本軽金属ホールディングス(株)を設立し、純粋持株会社体制に移行。	
事業の特徴	民間インフラ・自動車・建材向けにアルミ用途拡大に対応。原材料から最終製品まで内製化。	国内製錬の後退に対応し、アルミニウム地金生産から加工製品生産へ移行。国内での原料生産から輸入へシフト。R&Dを強化し、高機能、高付加価値分野へ進出。		●中国、東南アジア、インド、北米での加工製品の事業展開 ●マーケットインを基盤とする事業グループ制導入 ●サステナブル経営推進	